

ハ犬傳いぬのさし 早上巻



種彦福園の書

犬傳犬迺草紙

この巻

巻の巻



文吾兵衛の古那屋とて白玉粉饅頭粉亦賣ぬと難も赤山岩と称
 一用も駕絆一例のりけと八犬傳大草紙と題蹄小著と中一介の
 犬士も出さぬ幼童達の御機嫌と損ねん疋九編も其事を謝奉
 了猶此編前も等々犬士出さぬ狗の代小妙椿狸の留主番は承
 知らんと版元もかく中在下も心のけと摘要取詮も際あは然ま
 短く結りも多手抑西田素藤が傳をもろふ加々微細説ふあは
 大江親兵衛の出端を一際もろふ花が用其実も成る手四半編
 至りふ心犬が再度の謁見と疊紙の天神も後扉は帳尻も方あり
 天王様の大神典も四神劔が通りは河渡の如く一帙の法辛抱を希
 奉るふあん

安政未春

⑤十 柳々仙果

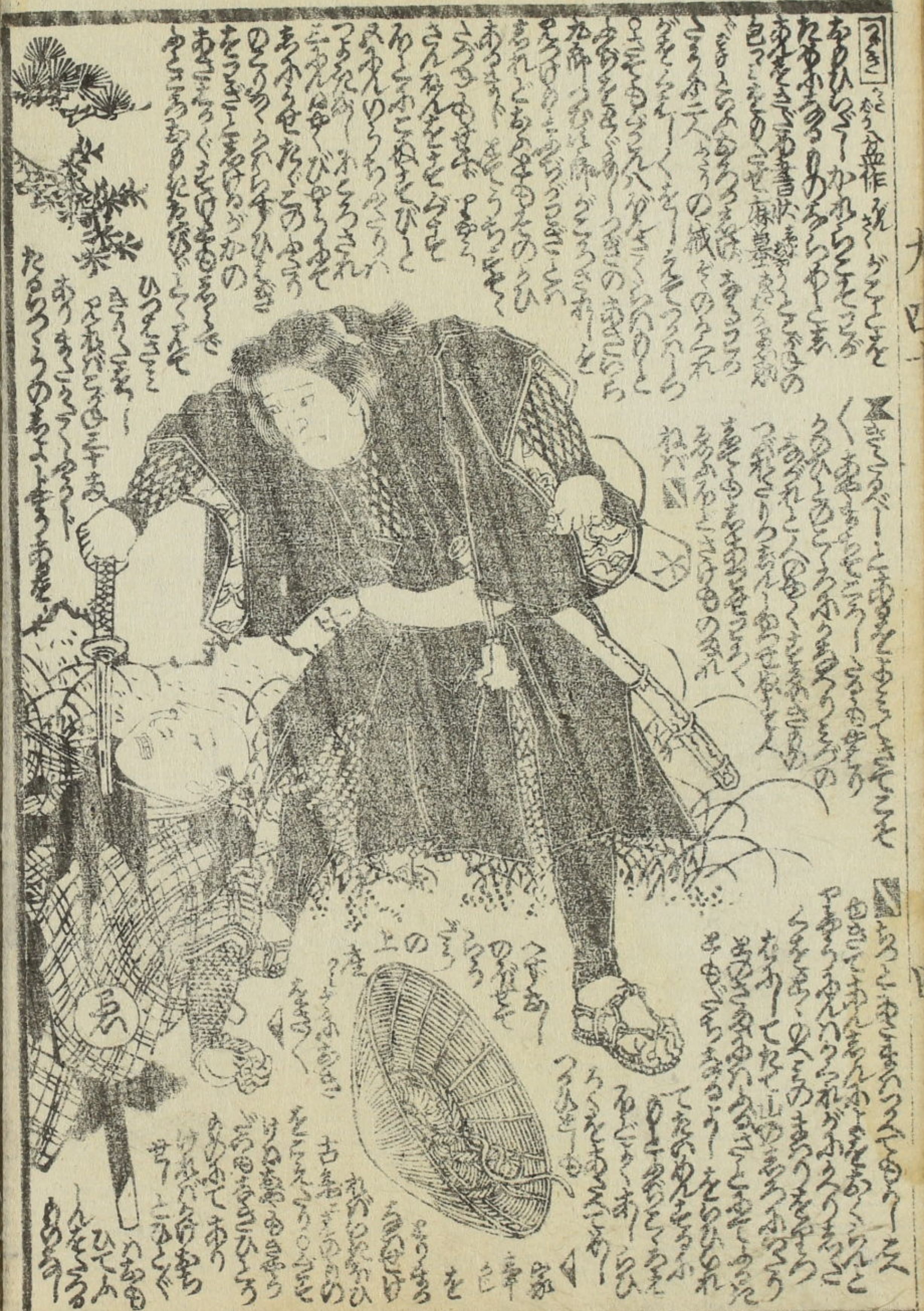






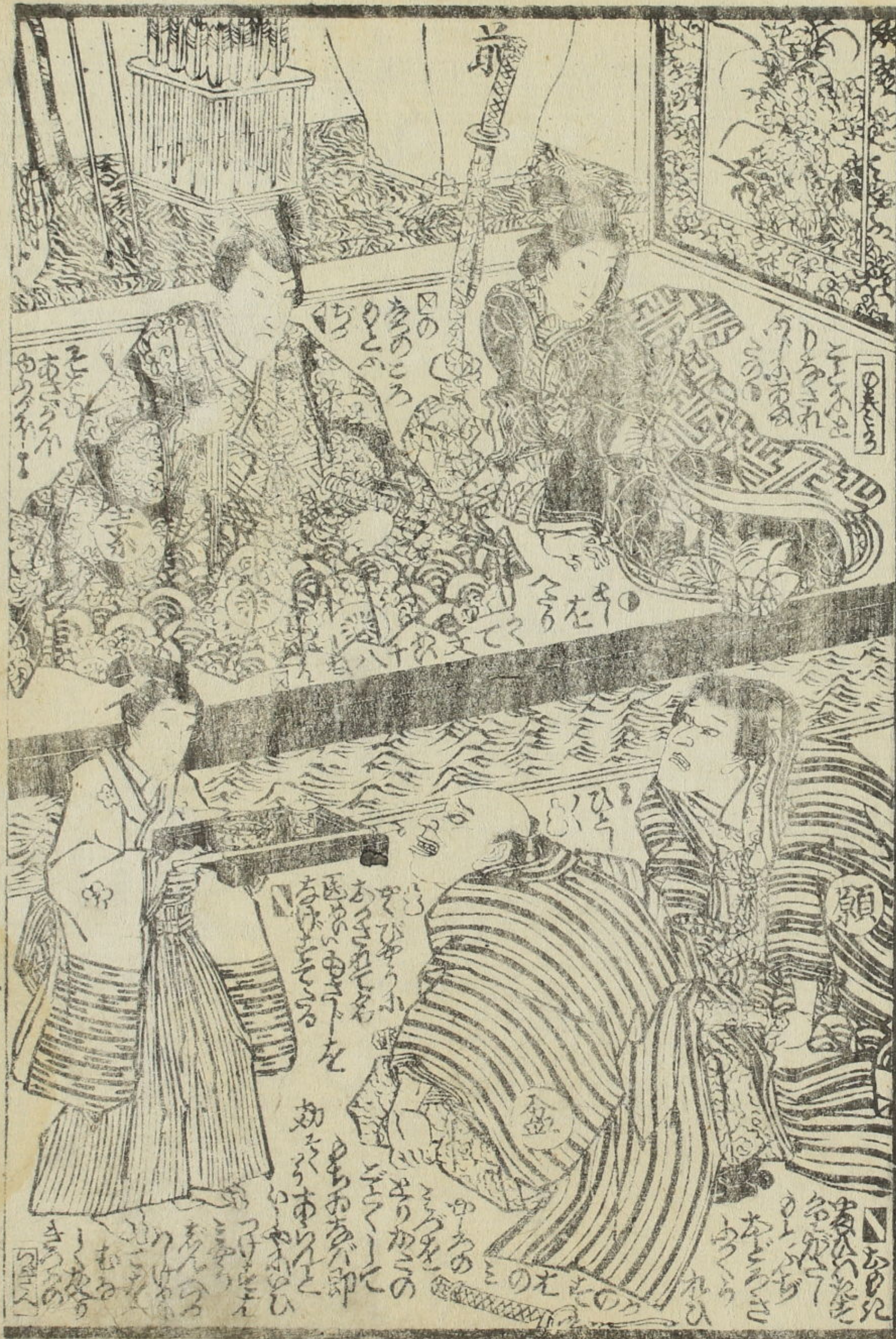
あつちの山は...
あつちの山は...
あつちの山は...

あつちの山は...
あつちの山は...
あつちの山は...



あつちの山は...
あつちの山は...
あつちの山は...

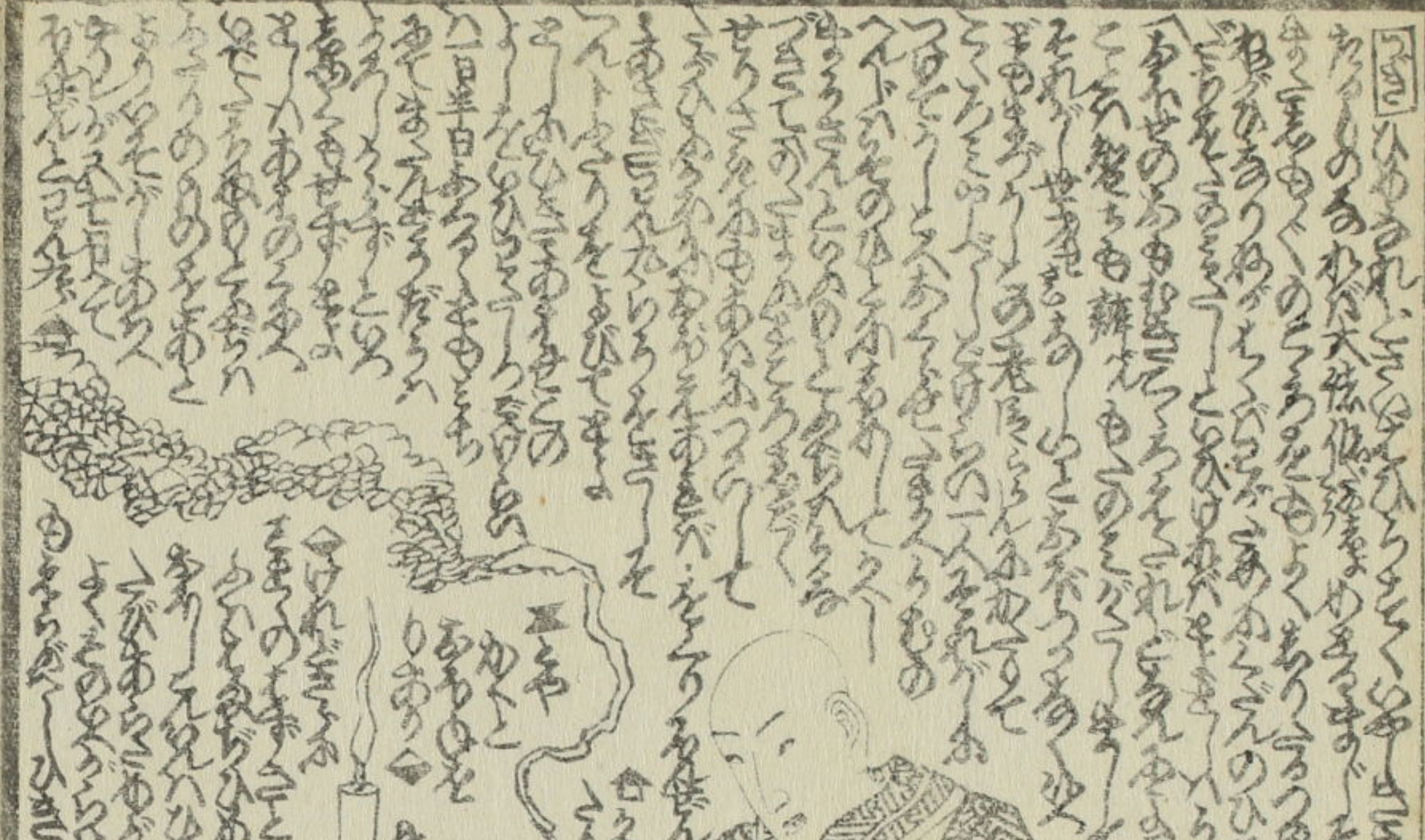
あつちの山は...
あつちの山は...
あつちの山は...



梅蝶樓國貞画

國貞の画は、天竺佛の像を、梅蝶樓の主人が、一筆一画、心をこめて、画したものである。その姿は、慈悲の心を、わびやかに、表現している。この画は、日本の美術史上、重要な位置を占めている。その理由は、その画が、日本の伝統的な美術と、天竺の美術とを、融合させたものであるからである。その画は、見る者の心を、癒やしてくれるものである。その画は、日本の美術の発展に、大きな貢献をしたのである。

梅蝶樓の主人、梅蝶樓の主人は、この画を、一生懸命に、描いた。その画は、見る者の心を、癒やしてくれるものである。その画は、日本の美術の発展に、大きな貢献をしたのである。その画は、見る者の心を、癒やしてくれるものである。その画は、日本の美術の発展に、大きな貢献をしたのである。



この画は、梅蝶樓の主人が、一生懸命に、描いた。その画は、見る者の心を、癒やしてくれるものである。その画は、日本の美術の発展に、大きな貢献をしたのである。その画は、見る者の心を、癒やしてくれるものである。その画は、日本の美術の発展に、大きな貢献をしたのである。

寶母散

本家
私方実母さんへの御礼とて、朝に申し、一目おぼえ、
よて年來高貴の御用を、承り申上り、御用を、承り申上り、
向に、おぼえ、申し、御用を、承り申上り、御用を、承り申上り、
千葉堂考輔製

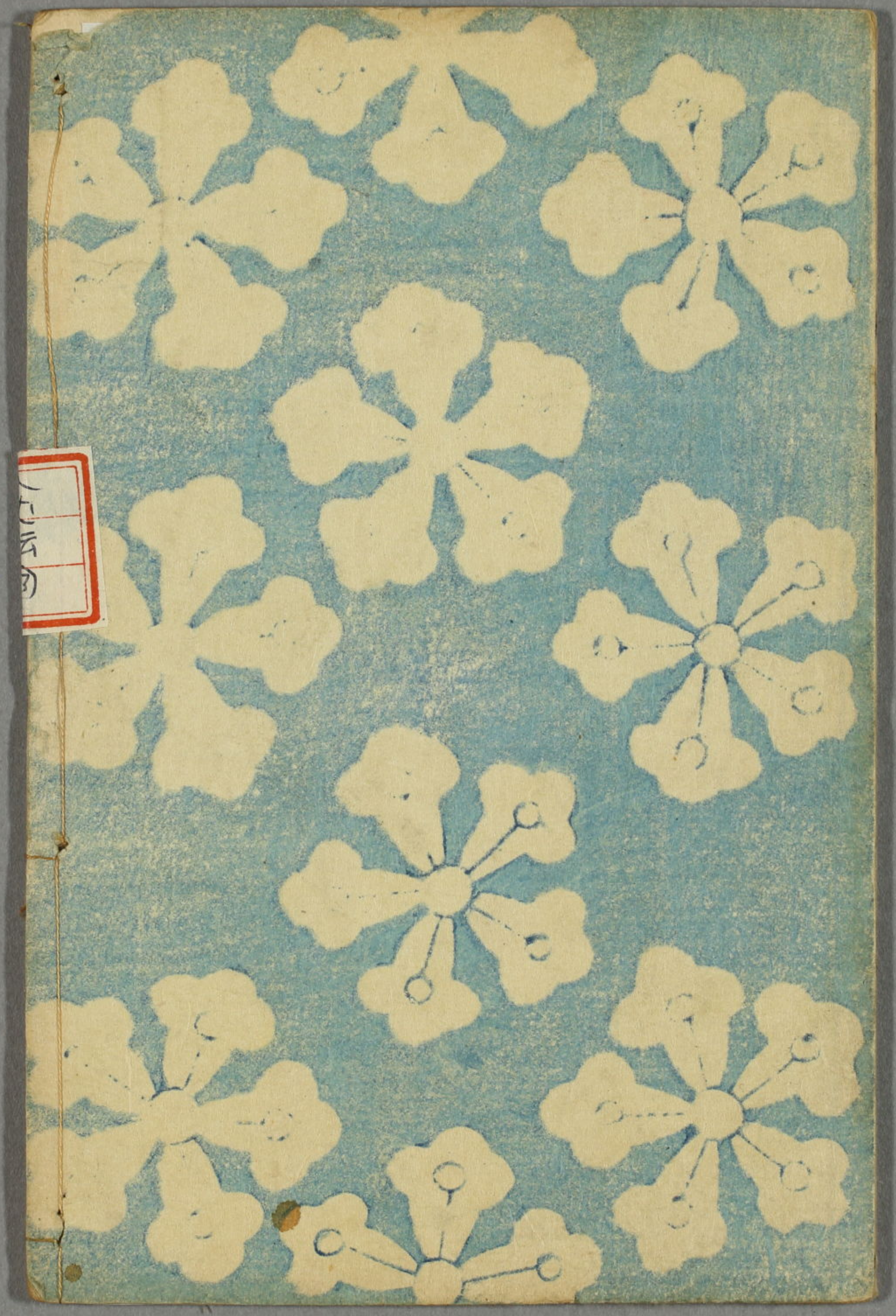
鼠祠通夜譚

四編上り
八編下り
柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

厚化粧萬年嶋田

初篇上り
通夜出板
為永春水作
梅蝶樓國貞画

這へ世に普く妙法せらるる、
黄緑若田の家小仇做人とて、爰に忠臣孝女ありて、渠が毒手小苦之
あし、その表を、て花やう、ぬる、宜く、理の法と、草及紙、なるん



初云七